

第 35 回地方独立行政法人鳥取県産業技術センター評価委員会議事録

1. 開催の日時 平成 28 年 7 月 12 日（火）午後 1 時 30 分～午後 5 時
2. 開催の場所 鳥取県庁第二庁舎第 20 会議室
3. 出席者氏名 出席者名簿のとおり（吉田委員欠席）
4. 会議の概要

（1）平成 27 年度実績報告に関するセンターヒアリング

説明資料「平成 27 年度業務実績報告書」（産業技術センター資料）
について説明。

○ 主な質問及び意見

- ・ 昨年度に比べて平成 27 年度実績報告書が非常に明瞭かつ理解しやすくなった。
- ・ 数値的には「おおむね計画どおり」と判断するのが妥当と考えるが「計画をさらに上回って成果を得た（A 評価）」する自己評価の理由は何か。
→（センター回答）
 - ・ 年度目標で掲げた数値目標を達成し、技術支援、技術移転等の事例も具体的に表れるなど質的にも向上している点で A とした。
- ・ センターの業務実績書、およびその補足説明から（9000 件を超える技術相談の背景など）企業との様々な活動と貢献が理解できた。
- ・ 平成 27 年度剰余金はどのように活用されるのか。
（センター回答）
 - ・ 剰余金は人件費分と業務費分に分かれている。人件費分については中期計画の最終年度に鳥取県側に納付することになるが、業務費分については繰越して機器整備等にあてることが可能となる。
 - ・ 業務の効率化を図ることで経費を抑制したこと、企業の機器利用の増加による収入増等によるもの。
- ・ 研究開発のテーマについては、時代の流れや県民に還元できるニーズを重視して取り組んでほしい。

- ・ 東北など代表的な酒どころには、良い酵母がありセンターなどで開発されている。酒の分野に限らず、ぜひ優秀な人材をセンターから出してほしい。

→ (センター回答)

- ・ 食品産業の支援人材育成（技術だけでなくマーケティング等の経営についても理解する人材）の取り組みを進めている。

(2) 今後の評価作業について

- 評価作業スケジュールについて、事務局より説明。
 - ・ 各委員による評価案の事務局提出について、7月27日期限で依頼
 - ・ 評価の全体案については、8月5日ごろを目途に各委員に確認依頼する予定。
 - ・ 特に昨年度とは評価方法が異なること等を説明。
 - ・ 次回評価委員会は8月24日に開催することで各委員了承。